第２２号様式

[redacted]

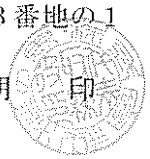
令和５年 ４月28日

（あて先）浜松市長　　様

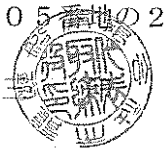
指定管理者（指定管理者）
所在地　静岡県浜松市天竜区月９６３番地の１
名　称　株式会社杉の里・有限会社天龍遊船共同事業体



指定管理者１　代表者
所在地　静岡県浜松市天竜区月９６３番地の１
名　称　株式会社　杉の里
代表者　代表取締役　中 谷 陽 一 朗　印



指定管理者２　構成員
所在地　静岡県浜松市天竜区相津１０５番地の２
名　称　有限会社　天龍遊船
代表者　代表取締役　鈴　木　順　[illegible]



浜松市天竜ボート場、浜松市立天竜自然体験センター湖畔の家、浜松市天竜林業体育館、浜松市天竜相津マリーナ指定管理者事業報告書

浜松市指定管理者による公の施設の管理に関する条例第９条の規定により、次のとおり令和元年度事業を完了したので、地方自治法第２４４条の２第７項の規定に基づき報告します。
（期間：令和４年４月１日　～　令和５年３月３１日）

（１）管理の実施状況及び利用状況

＜維持管理業務の状況＞

業　務　分　類	実施体制	内　　容	備　考
（天竜ボート場）	１人	管理責任者	相津マリーナと兼務
	１人	月艇庫施設管理人	監視員を兼務
	１人	伊砂ボートパーク監視員	
（天竜自然体験センター）	２人	管理責任者・事務担当職員	天竜林業体育館兼務
	１人	宿泊棟管理運営	アルバイト5人
	３人	栄養士・食堂棟管理運営	アルバイト7人
（天竜林業体育館）	１人	管理責任者	湖畔の家兼務
	１人	事務担当職員	湖畔の家兼務
（天竜相津マリーナ）	１人	管理責任者	天竜ボート場兼務
	１人	施設管理人	天竜ボート場兼務
	５人	監視員として当番制勤務	
（共同事業体事務担当）	１人	共同事業体関係事務担当	湖畔の家に勤務

＜施設の利用状況＞　　（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ボート場	441	626	485	655	355	29	192	358	9	66	195	3,100	6,511
湖畔の家	150	293	24	351	191	0	56	129	106	114	329	452	2,195
体育館	65	176	100	173	172	97	20	97	62	34	86	236	1,318
マリーナ	26	133	85	127	206	0	58	48	7	15	15	31	751
計	682	1,228	694	1,306	924	126	326	632	184	229	625	3,819	10,775

（参考）令和３年度　10,334人　令和２年度　7,269人　令和元年度　13,617人

（２）使用料又は利用料金の収入実績

単位（円）

	ボート場	湖畔の家	体育館	マリーナ	合計
4月	155,430	249,500	6,060	15,576	426,566
5月	151,110	547,380	4,230	104,742	807,462
6月	46,420	46,800	540	61,314	155,074
7月	185,970	518,390	6,840	95,150	806,350
8月	35,800	356,660	11,940	123,706	528,106
9月	2,700	0	2,910	0	5,610
10月	8,600	97,200	1,440	27,368	134,608
11月	30,530	152,100	6,700	25,234	214,564
12月	12,800	144,250	1,620	3,036	161,706
1月	0	93,320	2,520	7,304	103,144
2月	84,270	673,200	3,240	7,084	767,794
3月	1,026,440	1,108,410	12,240	17,732	2,164,822
合計	1,740,070	3,987,210	60,280	488,246	6,275,806

（参考）令和３年度　5,214千円　令和２年度　3,623千円　令和元年度　8,739千円

＜計画値との比較＞　　（単位：円）

項　目	内　訳	実績（A）	計画（B）	差（A－B）	備　考
ボート場		1,740,070	1,788,000	-47,930	
湖畔の家		3,987,210	5,400,000	-1,412,790	
体育館		60,280	79,000	-18,720	
マリーナ		488,246	1,050,000	-561,754	
合計		6,275,806	8,387,000	-2,041,194	

（3）管理に係る経費の収支状況　　（単位：円）

区分	項目		金額	内訳等	備考
収入	市指定管理料収入		28,305,648		
	利用料金収入		6,275,806		
	食堂売上収入		5,367,120		
	自販機手数料収入		517,292		
	雑収入		69,459		
	収入合計（a）		40,535,325		
支出	管理費	人件費	14,062,833		
		旅費	374,000	従業員通勤手当	
		需用費	1,291,548	消耗品	
		光熱水料費	4,689,227	電気・ガス・水道代	
		修繕費	1,995,296	施設・設備修繕	
		役務費	1,642,006	通信費・広告代等	
		委託料	4,393,123	施設・設備保守点検等	
		使用料および賃借料	868,597	駐車場地代・各種リース代	
		備品購入費	83,495	ヘッジトリマー・掃除機	
		雑費	226,946	振込手数料等	
	運営費	人件費	0		
		事業費	0		
	一般管理費	役員報酬	1,584,000		
		福利厚生費	1,712,200	厚生費・法定福利費	
		雑費	1,025,200	コピー代金等	
	食堂材料費	材料費	2,665,679		
	支出合計（b）		36,614,150		
収支差　（a）－（b）			3,921,175		

（4）自主事業の実施状況

＜自主事業に係る収支＞①　　（単位：円）

収入			支出		備考
項目	内訳	金額	内訳	金額	
カヌー教室	参加費	0	講師謝礼等	0	中止
湖畔の家観月会	参加費	0	出演者謝礼等	0	中止
竹灯籠つくり	参加費	0	雑費	0	中止
囲碁大会	参加費	42,000	賞品・賞状代等	38,962	
食堂事業	食堂・弁当	7,833,306	人件費・材料代等	6,820,584	
合計		7,875,306		6,859,546	

＜自主事業に係る収支＞②　　（単位：円）

区分	項目		金額	内訳	備考
収入	教室事業費		0		
	イベント参加費		42,000	2,000円×21人	
	食堂事業		7,833,306		
	収入合計（a）		7,875,306		
支出	教室事業	報償費	0		
		旅費	0		
		需用費	0		
		役務費	0		
		使用料および賃借料	0		
	イベント事業	報償費	6,912	入賞者賞品・参加賞代	
		旅費	0		
		需用費	16,800	参加者食事代	
		役務費	0		
		使用料および賃借料	15,250	部屋使用料・囲碁セット借用代	
	食堂事業	人件費	3,946,320		
		光熱費	1,154,408	電気・ガス代	
		需用費	178,722	容器包装費・弁当シール	
		材料費	1,541,134		
		使用料および賃借料	0		
	支出合計（b）		6,859,546		
収支差　(a)－(b)			1,015,760		

＜自主事業実績＞

開催教室・イベント名	実施体制	開催時間	参加者数	内　容	備　考
カヌー教室	インストラクター指導	各2時間	0人	初心者への指導	コロナ対策のため中止
ボート教室	インストラクター指導		0人		コロナ対策のため中止
湖畔の家観月会	共同事業体主催・協賛 花桃の里・月自治会	9月4日 18：00～21：00	0人	地域の音楽愛好家によるライブと朗読鑑賞	コロナ対策のため中止
竹灯籠づくり	講師による指導	8月14日 9：30～12：00	0人	地元自治会と協力し、観月会の会場を飾る竹灯籠を作った	コロナ対策のため中止
囲碁大会	共同事業体主催 地域交流事業	5月14日 9：00～14.00	21人	参加者相互による対局を4回行い、結果により順位をつける	
食堂事業	湖畔の家	通年	5,440人	昼食・弁当等	

（5）利用者アンケートの概要及び利用者からの苦情、意見等

＜利用者アンケートの概要＞

	実施期間	実施方法	集計数
1	R4.4.1～R5.3.31	「湖畔の家」利用者アンケート	10
2	R4.4.1～R5.3.31	「相津マリーナ」利用者アンケート	20
3			

＜利用者からの苦情、意見等＞

実施回	主な苦情、意見等	改善策等
1湖畔の家	合宿・研修の施設としては満足。	
	苦情は特になし	
2相津マリーナ		
	苦情は特になし	
3		

（６）　施設・設備の損傷、減耗、不具合の状況

＜施設＞

施設の区分	損傷、減耗、不具合の状況	対応状況
湖畔の家	誘導灯・自動火災報知設備・消火器	修理・取替完了
林業体育館	消火器交換	交換完了
相津マリーナ	外の水場のコンクリート壁の割れ	修理完了
ボート場	ゴール審判台のさびと割れ	溶接補修完了
湖畔の家宿泊棟	地盤の関係による建物の傾き	経過観察

＜備品等（Ⅰ種）＞

種　類	損傷、減耗、不具合の状況	備　考

＜備品等（Ⅱ種）＞

種　類	損傷、減耗、不具合の状況	備　考
なし		

（７）　事後評価での指摘及び意見に対する対応状況（立入調査、監査の指摘及び意見を含む）

①　公共施設・市民目線を意識した管理・運営について

新型コロナウイルスへの対策として、浜松市の指示に従い利用人数の制限等を行い、ホームページや掲示物で周知を図った。手指の消毒剤の設置と職員のマスク着用の徹底、正しい手の洗い方などの情報を掲出し、施設利用者にチェックリストに沿った協力を呼び掛けた。

また、日常的な施設内外の美化に努めるとともに、服装・名札の着用・丁寧な対応等を心掛けるよう共通理解を図り、職員の意識向上に努めた。

②　共同事業体の体制づくりについて

各施設の利用申し込みの簡略化について、共同事業体として取り組む意義を確認する中で、ネット予約の利用、各施設・外部機関との連絡体制の在り方について検討を進めた。

夜間の施設管理対応については、シルバー人材センターを活用していく予定であるが、現在は湖畔の家での電話対応で行っている。

指定管理事業全体の経理については、代表である（株）杉の里が行い、役割分担で決めた各施設の経理についてはそれぞれの担当が責任をもって行った。

③　危機管理に対応するためのマニュアル作成、訓練等の実施について

「天竜ボート場外３施設」危機対応マニュアルに基づき、各施設に想定されるリスクに対応できるよう、情報連絡網を整備し、職員に周知すると共に、施設ごとに防火訓練、避難誘導訓練等を実施し、施設の安全確保や利用者の安全確保に努めた。

「ボート場」・「相津マリーナ」においては、救助訓練・ライフジャケットの徹底、「湖畔の家」においては、食堂棟、浴室等の衛生管理を常に意識し、食中毒やレジオネラ菌の発生などがないよう職場内でのルールの徹底に努めた。

④　４施設の一体的なＰＲ（広報）の強化について

「船明ダム湖周辺公共４施設案内」のリーフレットを活用し広報活動に努めた。また、施設のホームページの見直しを図るとともに、地元の道の駅「花桃の里」や「竜川観光産業振興会」、「静岡県グリーンツーリズム」等と協力した活動の中でＰＲの強化に努めた。

例年取り組んでいた、浜松市・磐田市内の小・中・高等学校や企業、観光業者等を巡る誘客活動については、コロナ禍のため本年度もほとんど行えなかった。

ホームページ上からの問い合わせは増加している。

⑤　臨時休場等の手続き・保守点検結果の報告等について

臨時休場・休業日を変更する場合について、市長の承認を得ることを認識し、必要な手続きを行った。また、施設の開場計画表及び実績表の市担当課への提出、利用者への休場告知の掲示などを行い、適正な施設運営に努めた。

各施設の委託業務（各種保守点検等）の実施結果を担当課へ随時報告し、実施の有無・指摘事項等の共通理解を図った。

（８）　その他指定管理者との協定書で定める管理の状況を把握するために必要な事項

①　管理業務実績表（保守点検業務の委託先・実施状況）

別紙（設備保全等実績表）参照

各施設において第三者委託による保守点検等を行い、指摘事項については、随時対応した。

②　保険等の加入状況

指定管理施設として、次の施設が施設賠償責任保険に継続加入している。

天竜ボート場（月艇庫・伊砂ボートパーク）・湖畔の家・林業体育館・相津マリーナ

行事参加者の傷害保険には、次の施設が継続加入している。

天竜ボート場・相津マリーナ

（９）　指定管理者による自己評価

①　年間利用者の実績に対する評価

各施設の利用人数については、令和４年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ禍前の状況に戻らなかったが、全体として昨年度に比べ約 400 人増加した。

湖畔の家については、年間を通して小中学校の宿泊体験による利用は減少している。高校生大学生のスポーツ合宿等による利用は回復傾向にあった。

②　収支状況に対する評価

管理に係る経費の収支状況は、計画値との比較はマイナスとなったが、本年度は大きな修繕等が無かったため黒字となった。

自主事業に係る経費は、新型コロナウイルスの影響により中止となった事業があったものの湖畔の家における「食堂事業」の収入が増加したこと等により黒字に転換できた。

材料費・水道光熱費等の値上がりの中、支出を抑える努力を続けたが、毎月の固定費、修繕費・委託料等は致し方なく、今後も厳しい決算となることが予想される。

③　４施設の一体的な広報の状況と効果について

広報活動においては、今までの各施設の単独の運営や活動から抜け出すことを意識して施設のホームページの見直しや、共同事業体としてのリーフレット（船明ダム湖周辺公共４施設案内）を活用することで、一体的な広報活動を推進してきた。これからも行政や教育機関だけでなく、民間の団体、企業、個人とのつながりを作り、地域外にも情報発信を行うなど、一人でも多くの人たちにこの地域に足を運んでもらうように努めたい。

④　共同事業体の組織（体制）についての評価

本年度も、共同事業体として、それぞれの施設の管理運営に取り組んできた。各施設の特徴を全員が理解し、杉の里と天龍遊船が今まで培ってきたノウハウを生かした「共同事業体」としての取り組みができる体制を更に強化していきたい。

(10)　労働関係法令について

労働関係法令に基づき、適正に業務を履行しました。

(11)　施設運営に関する意見・要望について

○各施設や設備が経年劣化し、小規模の修繕だけでは対応しきれない箇所の増加が見込まれる。特に利用者の安全面に係る設備、物品等の老朽化については、市担当課と状態を共有し、適切に更新・改修を進めたい。

（天竜ボート場）

天竜ボート場の便所の洋式化、シャワートイレ化を推進することが課題となっている。併せて付属の外部（一般開放）便所、公衆便所も次の課題である。

天竜ボート場艇庫の会議室の灯具のLED化も推進したい。

（湖畔の家）

経年劣化で、６０万円以下の修繕や器具の不具合が多く発生するようになってきている。

不具合が生じたときは、その都度速やかに対応し、正常維持に努めていくが、こうした金額が比較的多額になってきている。

宿泊棟・食堂棟の灯具のLED化を少しずつ進めていきたい。

（天竜林業体育館）

アリーナ部分への雨漏りが時々見られるが、その都度対処し、大きな問題とはなっていない。

貸出用用具・備品も老朽化してきている。新規購入・修繕等を計画的に進めていきたい。

（相津マリーナ）

・対岸の落石があったが、対応済み。

・天竜河内川の上流から大量の水と土砂が流出し、川底に堆積している。

（県へ相談の調整中）